

2023 年度 各授業学習目標・授業目標 科目名：2 年探究 B・ピーススタディ

高等部教育目標				
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う				
探究型カリキュラム教育/学習目標				
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける				
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning				
1. 自分事として ＜オーナーシップ／一人称＞	2. 社会/実践を通して ＜PBL 型/アクション＞	3. 知識を大事に ＜自ら得る知識/高める関心＞	4. コミュニケーションを通して ＜自分/他者のやりとり＞	5. 生徒・教員が共に ＜共に探究する関係性＞
上位学習目標				
【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 「平和」の定義について、状況に合わせて可変的に語ることができる 「平和」に関わる社会的課題について、自分の言葉で語ることができる 「平和」に関わるフィールドスタディを通じて、課題に取り組む現場の人たちや一次資料から生の情報を収集することができる 【思考力・判断力・表現力】 <ul style="list-style-type: none"> 「平和」に関わる社会的課題について調べ、その解決方法を提案することができる 「平和」に関わる様々な価値観や見方を比較検討することができる 「平和」に関わる社会的課題について調べ、そこから得た知識や考察した自分の意見を他者に伝えることができる 【学びに向かう力・人間性】 <ul style="list-style-type: none"> 世の中の平和実現のために自分が必要な知識や力を身につける意欲を高めることができる 自分が関わる社会がより平和なものになるように、自分に何ができるかを考察し、実際に行動を起こす一歩を踏む姿勢を持つことができる（人間性） 				
下位学習目標				
【知識・技能】 <ol style="list-style-type: none"> ① 様々な方法を用い、自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題を見つけ出すことができるようになる。 ② 自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、フィールドワークを含む様々な手段を用いて知識・理解を深めることができるようになる。 【思考力・判断力・表現力】 <ol style="list-style-type: none"> ① 自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、他者のそれと比較検討することができるようになる。 ② 自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題についての解決策にむけた具体的なアクションを企画・立案することができる。 ③ 上記を踏まえて、自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、効果的にプレゼンテーションができるようになる。 【学びに向かう力・人間性】 <ol style="list-style-type: none"> ① 自身が興味・関心のある「平和」に関わる社会課題について、具体的なアクションを伴い、他者へ伝えたいという情熱を持つようになる 				

授業日	4/18(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】①【学びに向かう力・人間性】① 本時の具体的な目標 ① 高等部における探究型学習の在り方、狙いを理解する（探究型カリキュラム主任より） ② ピーススタディの授業の目標・進め方を理解する（担当者より） ③ 生徒それぞれが「平和」の定義について考え、共有する ④ 学びの記録の書き方について理解する		
時間 授業内容	5 限 6 限	・探究型カリキュラム主任より KGH における探究型学習の説明とオリエンテーション ① それぞれがロイロノートのカードに自分が考える「平和」の定義を書く ② 3 人のグループでそれぞれの定義を発表し、共有する	
評価方法	① ロイロノートのカードでの「平和の定義」の提出 ② 学びの記録のルーブリックによる評価		
宿題指示	① 平和の定義の再考＋具体的な事例をロイロノートのカードで提出する ② 本日の授業中に書いた「学びの記録」を再考の上、Teams 上で提出する		

授業日	4/25(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①【思考力・判断力・表現力】①③【学びに向かう力・人間性】①		
	本時の具体的な目標 ① 他者や識者の意見と比較して、自分の「平和の定義」を振り返り、深化させる ② KJ 法を経験し、その方法を理解する ③ まなボードを用いたグループでの意見構築とグループ発表を経験し、その方法を理解する ④ 学びの記録を書く事に慣れる		
時間	5	アイスブレイク	
授業内容	10	関西学院大学総合政策学部の清水康子教授による「平和」の定義を読み、自身の定義と比較した結果をペアワークでシェアする。	
	15	ここまでの「自分の平和の定義」を振り返り、学びの記録へ記録する	
	20-60	「身近にある平和な状態」と「身近にある平和ではない状態」について KJ 法を用いて 3 人のグループで整理し、グループ間でシェアする。	
	60-70	グループ内の発表を踏まえて、KJ 法で出たものを、学びの記録に文章化する	
	70-80	それぞれの学びを元に、改めてグループ内でのテーマに順位付けを行う	
	80-90	来週のフィールドスタディに向けた解説と説明	
評価方法	① KJ 法で整理したことのロイロノートへの提出 ② 学びの記録のルーブリックによる評価		
宿題指示	① 本日の授業中に書いた「学びの記録」を再考の上、Teams 上で提出する ② 「若者の貧困」に関する WEB 記事等を読み、「学びの記録」を作成して、Teams 上で提出する。 ③ フィールドスタディに向けた、「観点と問いシート」を作成して、Teams 上で提出する。		

授業日	5/9(火)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回	
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①③【学びに向かう力・人間性】①			
	本時の具体的な目標			
	① 「問いと観点」シートの作成方法について理解する ② フィールドスタディを経験する			
時間 授業内容	5	アイスブレイク：前回の宿題「若者の貧困」の学びの記録をもとに、自分の関心と意見についてグループでシェア		
	10	フィールドスタディの具体的なポイントについて説明：アボの取り方等		
	25	前回の宿題「問いと観点」をグループでまとめる		
	25-75	関学内フィールドスタディ（総合企画部、情報化推進機構）		
	75-90	まとめと共有と次回授業に向けてのまとめ		
評価方法	本時は特になし			
宿題指示	① 本日の授業中に書いた「学びの記録」を再考の上、Teams 上で提出する			
	② 次回授業に向けた、「観点と問いシート」を作成して、Teams 上で提出する。			

授業日	5/23(火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】①②		
	本時の具体的な目標		
	① 事前に作成した「観点と問い」を元に、レクチャーを聴き質問を行う。 ② 授業者が実施するアクティビティに学年を超えて積極的に参加する。		
時間 授業内容	90 分間	「世界こども平和賞」の受賞者である川崎レナさんのレクチャー	
評価方法	学びの記録のルーブリックによる評価		
宿題指示	本日の授業中に書いた「学びの記録」を再考の上、Teams 上で提出する		

授業日	5/30(火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】② 本時の具体的な目標 ① 学びの記録とポートフォリオの意味と記載方法について理解する。 ② 自分の課題・テーマとそこからの問い立ての方法について理解する。		
時間 授業内容	5 15 25 35-90	これまでの「学びの記録」から注意点等について伝える。「感想・自分の意見」だけに終始するのではなく「有機的なつながり」を意識することについて留意する。 「学びの記録」をショーケース的に並べて俯瞰した上での「ポートフォリオ」の記載方法について説明 「ポートフォリオ」を書いてみる 「問いの絞り込み」についてのワークを行う 「5W1H」と「Yes/No」を組み合わせることを意識させる	

評価方法	① それぞれのテーマについてロイロノートの提出箱に提出したもののルーブリックによる評価 ② 問いの絞り込みのワークの取り組み内容についてロイロノートに提出したもののルーブリックによる評価
宿題指示	問いの絞り込みのワークシートを完成させる

授業日	6/6(火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①		
	本時の具体的な目標		
	① 自分の課題・テーマに必要な知識のインプットを行う ② 個人面談を通じて、自分のテーマに関する問い立てについて、教員に説明できるようにする。		
時間	0-90	大学図書館「グループ閲覧室」にて授業を行う。	
授業内容		それぞれ必要な情報を図書館で収集しながら、途中、個人面談を行う。	
評価方法	学びの記録のルーブリックによる評価		
宿題指示	① 本日の授業中に書いた「学びの記録」を再考の上、Teams 上で提出する ② 次回のプレゼンに向けての資料整理及びスライド作成		

授業日	6/15(木)	1 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①		
	本時の具体的な目標		
	① それぞれの課題・テーマについてのプレゼンテーションを行う。 ② それぞれのプレゼンテーションに対して相互評価を行う。		
時間 授業内容	0-90	個人のテーマについてのプレゼンテーション実施	
評価方法	ルーブリックによる相互評価 学びの記録のルーブリックによる評価		
宿題指示	まとめのレポート（800 字程度）の作成		

授業日	6/20(火)	1 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回	
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】①			
	本時の具体的な目標 ① 「問いの絞り込み」について更に理解を深める。 ② フィールドとスタディの意義と計画書の作成方法について理解する。			
時間	5	文部科学省アンケート		
授業内容	15	問いを更に絞り込み、論題としていくワーク		
	35-80	フィールドワークに関するリサーチと計画書作成		
	80-90	まとめのレポートについて		
評価方法	問いの絞り込みのワークシートのルーブリックによる評価			
宿題指示	まとめのレポート（800 字程度）の作成			

授業日	6/27(火)	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】②		
	本時の具体的な目標 ① アカデミックライティングのスキルについて理解する。 ② ①を元に、自分の「まとめのレポート」へのライティングセンター講師からのフィードバックを受け、自分の探究の骨子となる文章を完成させる。		
時間	0-45	関西学院大学ライティングセンターの講師による問いの立て方、論理的なレポートの書き方	
授業内容		についてのレクチャー	
	50-90	ライティングセンター所属の大学院生による個人面談と指導	
評価方法	今回は特になし		
宿題指示	まとめのレポートのリライト		

授業日	9/5(火)	2 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】①		
	本時の具体的な目標 ① 1 学期を踏まえて、2 学期に自分が取り組むことの確認を行い、各自でシェアする ② 個人の探究課題の設計図となる、探究チャートについて理解し、作成を始める		
時間	5	1 学期学年末課題を踏まえての振り返り	
授業内容	2-30	学期にやることの確認とそれぞれでの共有	
	30-45	探究チャートの説明	
	55-80	探究チャート作成 その間に個人面談	
	80-90	Wrap up	
評価方法	ロイロへ 2 学期の各自の課題と目標について記載したものをルーブリック評価		
宿題指示	探究チャート作成		

授業日	9/12(火)	2 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】②		
	本時の具体的な目標 ① 探究チャートの作成を続け、少なくとも「問い：リサーチクエスト」「仮説」の部分を完成させる ② 自身の「問い」の設定についての振り返りを行う		
時間	5	本日の実施内容について説明	
授業内容	10-85	図書館にて各自作業 その間に個人面談	
	90	Wrap up	
評価方法	②について Classi に振り返りを記入したものをルーブリック評価		
宿題指示	②の完成		

授業日	9/26(火)	2 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回	
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】			
	本時の具体的な目標 ① 探究チャートの作成継続 ② チャートのうち、「情報カードの作成」「調査計画の策定」について理解する			
時間	20	各人による進捗と課題の共有		
授業内容	20-30	③ の説明		
	40-85	図書館にて、各自でリサーチ及び探究チャート作成 その間に個人面談		
	90	Wrap up		
評価方法	情報カードを提出し、ルーブリック評価			
宿題指示	情報カードの作成			

授業日	10/3(火)	2 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】②		
	本時の具体的な目標		
	① 探究チャートの作成継続 ② 自身の探究についての調査設計の計画について説明することができる		
時間	20	各人による進捗と課題の共有	
授業内容	20-30	調査計画策定について説明	
	40-80	図書館にて、各自でリサーチ及び探究チャート作成 その間に個人面談	
	80-90	各自の調査計画について共有	
評価方法	今回は特になし		
宿題指示	時任教授との面談に向けての日程調整		

授業日	10/17(火)	2 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】①		
	本時の具体的な目標		
	① 時任教授との個人面談より得た示唆を他のメンバーと共有する ② 探究チャート作成の継続		
時間	20	各人による進捗と課題の共有：時任教授との個人面談を踏まえて	
授業内容	20-40	時任教授との個人面談を踏まえての視点の整理	
	50-80	図書館にて各自でリサーチ及び探究チャート作成 その間に主に調査計画について個人面談	
	85	Wrap up	
評価方法	時任教授との個人面談についての振り返りを Classi に提出しルーブリック評価		
宿題指示	時任教授との個人面談についての振り返りを完成させる		

授業日	10/24(火)	2 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回	
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①			
	本時の具体的な目標			
	①探究チャート作成の継続			
	※出張のため自習：生徒代表がゼミを回す形で実施			
時間	20	各人による進捗と課題の共有		
授業内容	30-80	図書館にて各自でリサーチ及び探究チャート作成		
	80-90	本日の作業と進捗についてそれぞれで共有		
評価方法	なし			
宿題指示	次回のライティングセンターによる講義で使用する 800 字程度の中間発表レポートの作成			

授業日	11/14(火)	2 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】②		
	本時の具体的な目標 ① ライティングセンター講師による講義から、アカデミックライティングについて理解する ② ライティングセンターのインストラクターによる個人の計画への助言をもとに、それぞれの今後の課題について理解する		
時間	0-45	ライティングセンター講師による講義	
授業内容	55-85	ライティングセンター インストラクターによる個別相談	
	85-90	Wrap up	
評価方法	ライティングセンター インストラクターからの助言を踏まえた振り返りを行い、ルーブリック評価		
宿題指示	ライティングセンターからのアドバイスに沿って、レポートの書き直しを行う		

授業日	11/21(火)	2 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回	
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】			
	本時の具体的な目標 ① 探究チャート作成の継続 ② それぞれの調査計画について、メール作成やアンケート項目作成等の具体的な作業を行う			
時間	20	各人による進捗と課題の共有		
授業内容	20-40	メール作成やアンケート等、調査実施に向けた具体的なチェック項目について説明		
	50-80	図書館にて各自で作業 その間に個人面談		
	85	Wrap up		
評価方法	各自の調査計画チェックリストの作成・提出			
宿題指示	各自の調査計画チェックリストの完成			

授業日	11/28(火)	2 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回	
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①			
	本時の具体的な目標 ① 冬休み中の個々人の調査計画についての詳細確認を行う ② ①についてそれぞれで共有し、それぞれ抜けがないかを確認する			
時間	20	各人による進捗と課題の共有		
授業内容	30-80	図書館にて各自作業：その間に個人面談にて、冬休みに実施するそれぞれの調査等について最終確認		
	80-90	冬休みの計画についてそれぞれ発表・決意表明		
評価方法	今回は特になし			
宿題指示	各自の調査計画に必要なものについての具体的準備・完成			

授業日	1/16(火)	3 学期授業回数	1 回目 / 全 5 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①		
	本時の具体的な目標		
	① 2 学期の個人探究の進捗について、まとめのプレゼンテーションを行う ② ①について相互評価と自身の振り返りを行う		
時間	5	評価のルーブリックと相互評価の方法について説明	
授業内容	5-50	それぞれのプレゼンテーション：相互評価を実施 自身の振り返りは適宜実施	
	60-90	それぞれのプレゼンテーション：相互評価と実施 自身の振り返りは適宜実施	
評価方法	プレゼンテーションのルーブリック評価、同じルーブリックによる生徒間の相互評価		
宿題指示	個人の振り返りの完成		

授業日	1/20(土)	3 学期授業回数	生徒交流会
交流会のテーマ	徹底的な対話		
交流会のテーマ	主なターゲット【知識・技能】①②③【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】②③		
	本時の具体的な目標		
	① 自身の探究活動の内容について，他者が理解できるよう言語化する		
	② 他者の探究活動の内容から，自身にはなかった視点や考えを学ぶ		
	③ 対話を通して，自身の探究活動の次のステップに関するヒントを得る		
時間	13:00	関西学院高等部正門集合，教室への移動	
授業内容	13:05	開会の挨拶	
	13:06	本日のスケジュールの説明，グルーピング	
	13:10	アイスブレイク	
	13:20	対話第 1 ラウンド開始	
	14:00	対話第 2 ラウンド開始	
	14:40	まとめ	
	14:55	閉会の挨拶	
	15:00	解散	
参加高校	・ 関西学院高等部（約 6 名） ・ 関西学院千里国際高等部（約 5 名） ・ 兵庫県立鈴蘭台高校（約 7 名）		

授業日	1/23(火)	3 学期授業回数	2 回目 / 全 5 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】②		
	本時の具体的な目標		
	① 各自の探究について、徹底した質疑応答を行う ② 質疑応答にもとづいた対話を行い、次のステップに関するヒントを得る		
時間	5	目標の確認	
授業内容	10-45	各自のプレゼンと質疑応答、対話	
	55-85	各自のプレゼンと質疑応答、対話	
	90	Wrap up	
評価方法	Classi による振り返り		
宿題指示	質疑応答と対話に基づいた各自の修正		

授業日	1/30(火)	3 学期授業回数	3 回目 / 全 5 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②【学びに向かう力・人間性】②		
	本時の具体的な目標		
	① 各自の探究について、徹底した質疑応答を行う		
	② 質疑応答にもとづいた対話を行い、次のステップに関するヒントを得る		
時間	5	目標の確認	
授業内容	10-45	各自のプレゼンと質疑応答、対話	
	55-85	各自のプレゼンと質疑応答、対話	
	90	Wrap up	
評価方法	Classi による振り返り		
宿題指示	質疑応答と対話に基づいた各自の修正		

授業日	2/6(火)	3 学期授業回数	4 回目 / 全 5 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】②		
	本時の具体的な目標 ① 各自の探究について、徹底した質疑応答を継続して行う ② 質疑応答にもとづいた対話を行い、次のステップに関するヒントを得る ③ 次回のピアティーチングに向けた、3 分間プレゼンの形を完成させる。		
時間	5	目標の確認	
授業内容	10-45	各自のプレゼンと質疑応答、対話	
	55-85	3 分間プレゼン資料作成	
	90	Wrap up	
評価方法	各自のプレゼンスライドと録画の提出、ルーブリック評価		
宿題指示	3 分間プレゼン完成		

授業日	2/15(木)	3 学期授業回数	探究型カリキュラム ピアティーチングの会
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③ 【学びに向かう力・人間性】④		
	本時の具体的な目標 ① これまでの学びを、言語化し、それぞれの発表形式に合わせ、資料としてまとめる。 ② 異なる研究をする人たちに対して、自分達が行ってきた活動の内容、理由、目的などを適切に説明する。 ③ 異なる視点で研究をする人たちの発表を聞き、自分たちの研究の参考となる新しい視点を得る。 ④ 積極的に意見交換を行い、凝り固まったアイデアを払拭する。		
時間	5	目標の確認	
授業内容	10-85	アート探究・AI 活用・グローバルスタディ、それぞれのプレゼンと質疑応答	
	90	Wrap up	
評価方法	学びの記録の提出、ルーブリック評価		
宿題指示	学びの記録を完成させる		

授業日	2/20(火)	3 学期授業回数	5 回目 / 全 5 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②③		
	本時の具体的な目標		
	① 各自の探究について振り返り、意見交換を行う		
	② 各自の探究の次のステップについて確認し、意見交換を行う		
	③ 先週の「探究ピアティーチング」の他グループからの質問を共有し、それに答える形で意見交換を行う。		
時間	5	目標の確認	
授業内容	10-20	各自のこれまでの探究活動について個人の振り返り	
	20-45	各自のこれまでの探究活動について、全体共有とディスカッション	
	55-65	各自の探究の次のステップについて個人での確認作業	
	65-85	各自の探究の次のステップについて、全体共有とディスカッション	
	90	Wrap up	
評価方法	それぞれの振り返りと確認をロイロノートで提出		
宿題指示	① 最終的な個人プレゼンの撮影・提出 ②Classi 振り返り ③春休みの個人面談		